

平成30年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心

稲沢市消防本部

目 次

稲沢市管内概要	1
緊急出動概況	2
119番受信概況	4
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

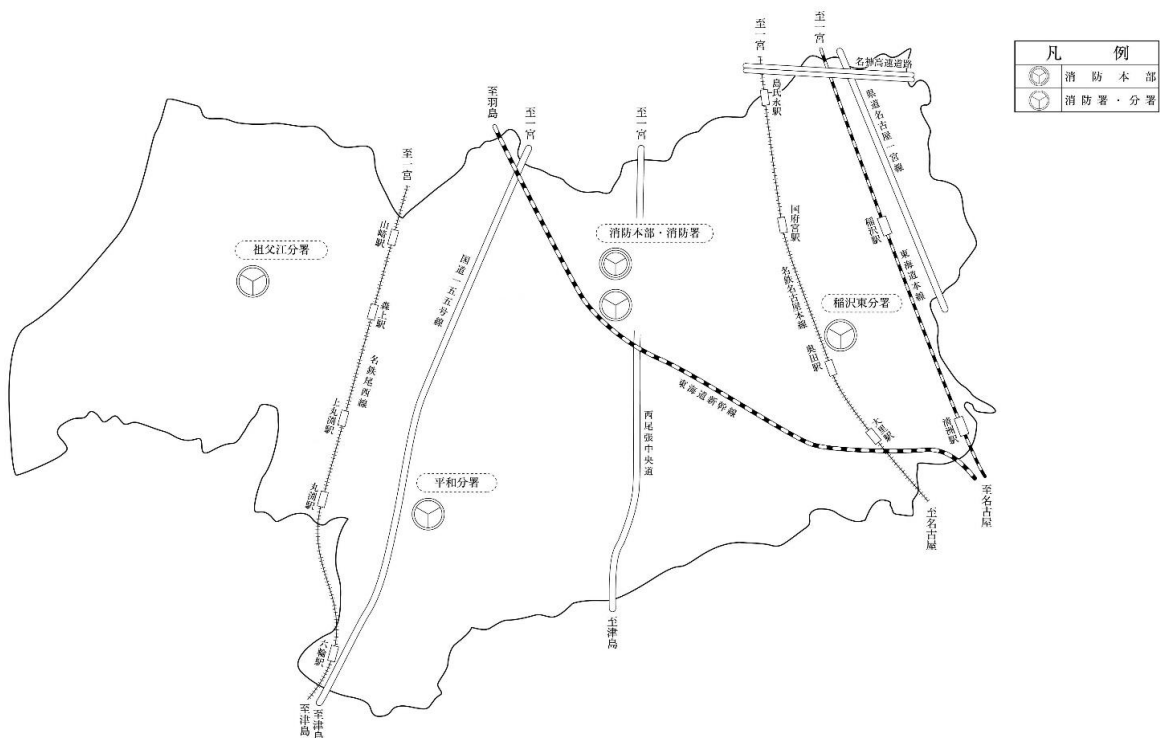
平成31年1月1日現在

区 分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲 沢 市	79.35	67,947	69,122	137,069	54,358

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名 称	所 在 地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,830件で、前年と比較して395件増加している。

1日当たりの平均出動件数は約21件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に1,339件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が6,238件(79.7%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,122件(14.3%)、警戒出動が217件(2.8%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率
本署	平成29年	53	1,631	68	75	320	2,147	28.9%
	平成30年	47	1,799	80	72	327	2,325	29.7%
稲沢東分署	平成29年	30	2,578	27	46	415	3,096	41.6%
	平成30年	22	2,524	33	56	437	3,072	39.2%
祖父江分署	平成29年	18	841	15	31	154	1,059	14.3%
	平成30年	25	995	7	35	165	1,227	15.7%
平和分署	平成29年	13	873	7	54	186	1,133	15.2%
	平成30年	23	920	16	54	193	1,206	15.4%
合計	平成29年	114	5,923	117	206	1,075	7,435	100%
	比率	1.5%	79.7%	1.6%	2.8%	14.4%		
	平成30年	117	6,238	136	217	1,122	7,830	100%
	比率	1.5%	79.7%	1.7%	2.8%	14.3%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要なときに出動するものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。
 火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約94件、警戒出動は月平均で約18件出動している。

第2表 月別緊急出動状況

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	3	4	4	2	3	4	1	7	5	1	9	4	47	117
	稲沢東分署	4	1	1	2	3	3	0	3	0	0	3	2	22	
	祖父江分署	3	2	4	2	0	1	2	4	3	0	2	2	25	
	平和分署	3	2	3	3	4	0	0	2	4	0	1	1	23	
	小計	13	9	12	9	10	8	3	16	12	1	15	9	117	
救急	本署	155	140	127	124	132	127	198	173	155	161	140	167	1,799	6,238
	稲沢東分署	265	240	234	184	228	220	249	183	165	176	173	207	2,524	
	祖父江分署	88	98	67	71	63	59	105	98	76	72	84	114	995	
	平和分署	75	78	71	73	74	56	97	86	79	74	71	86	920	
	小計	583	556	499	452	497	462	649	540	475	483	468	574	6,238	
救助	本署	9	9	10	4	4	4	9	8	4	8	5	6	80	136
	稲沢東分署	5	1	4	2	3	3	5	3	1	5	0	1	33	
	祖父江分署	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	1	7	
	平和分署	1	1	1	1	2	1	3	3	1	0	1	1	16	
	小計	15	11	17	7	9	8	17	14	7	13	9	9	136	
警戒	本署	3	6	3	4	2	5	5	4	15	6	12	7	72	217
	稲沢東分署	6	2	2	4	4	2	2	5	17	1	8	3	56	
	祖父江分署	2	1	2	3	2	0	3	5	3	2	8	4	35	
	平和分署	8	2	3	6	5	3	3	4	6	6	5	3	54	
	小計	19	11	10	17	13	10	13	18	41	15	33	17	217	
救急支援	本署	38	31	19	26	31	23	32	21	25	23	23	35	327	1,122
	稲沢東分署	47	34	36	29	39	29	42	33	26	34	32	56	437	
	祖父江分署	16	17	12	11	15	9	15	16	12	16	10	16	165	
	平和分署	21	16	13	15	17	8	23	15	13	12	13	27	193	
	小計	122	98	80	81	102	69	112	85	76	85	78	134	1,122	
合計		752	685	618	566	631	557	794	673	611	597	603	743	7,830	

119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり8,390件で、前年と比較して515件増加している。1日当たりの平均受信件数は約23件で、前年より0.3件増加している。増加した理由としては、救急件数が増加したためである。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,775件で56.9%、携帯電話からの119番が3,615件で43.1%となっている。

第1表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
28年	固定電話	29	3,443	15	1,710	5,197
	携帯電話	44	2,080	38	929	3,091
	合計	73	5,523	53	2,639	8,288
29年	固定電話	18	3,441	12	1,144	4,615
	携帯電話	82	2,272	50	856	3,260
	合計	100	5,713	62	2,000	7,875
30年	固定電話	39	3,467	15	1,254	4,775
	携帯電話	100	2,608	59	848	3,615
	合計	139	6,075	74	2,102	8,390

※「その他」は、警戒、調査、訓練通報、いたずら、病院問い合わせ等

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計1,912回で、前年と比較して210回減少している。

訓練指導及び調査回数を種別に見ると、80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を990戸（51.8%）実施しており、次いで地理水利調査が288回（15.1%）、消防団訓練指導が176回（9.2%）の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計323団体（16.9%）に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況

署別	種別	消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	住宅防火査察	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率
		本署	平成29年	82	36	45	40	65	26	408	75	4	4
	平成30年	75	30	48	45	65	19	346	67	4	1	700	36.6%
稲沢東分署	平成29年	45	36	40	24	19	4	460	72	4	0	704	33.2%
	平成30年	40	32	49	17	20	3	374	100	2	1	638	33.3%
祖父江分署	平成29年	43	8	17	16	8	2	177	75	0	0	346	16.3%
	平成30年	33	7	14	14	5	0	147	62	2	0	284	14.9%
平和分署	平成29年	31	19	32	13	11	2	122	56	1	0	287	13.5%
	平成30年	28	19	34	14	9	3	123	59	1	0	290	15.2%
合計	平成29年	201	99	134	93	103	34	1,167	278	9	4	2,122	100%
	比率	9.4%	4.7%	6.3%	4.4%	4.9%	1.6%	55.0%	13.1%	0.4%	0.2%		
	平成30年	176	88	145	90	99	25	990	288	9	2	1,912	100%
	比率	9.2%	4.6%	7.6%	4.7%	5.2%	1.2%	51.8%	15.1%	0.5%	0.1%		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。
 2 査察及び調査は、消防署の計画に基づき行うものをいう。
 3 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数をいう。
 4 住宅防火査察は80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象としている。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。事業所訓練指導、教育機関訓練指導、普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通して実施している。消防団訓練指導は、ポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会訓練指導は、防災訓練等の関係で9月から11月に集中的に実施している。

住宅防火査察は、各目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

種別・署別		月別												小計	合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消防団 訓練指導	本署	0	0	0	31	14	13	17	0	0	0	0	0	0	75	176
	稲沢東分署	0	0	0	30	10	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
	祖父江分署	0	0	0	25	7	0	0	1	0	0	0	0	0	33	
	平和分署	0	0	0	20	8	0	0	0	0	0	0	0	0	28	
	小計	0	0	0	106	39	13	17	1	0	0	0	0	0	176	
自主防災会 訓練指導	本署	2	0	5	1	1	1	3	1	2	8	4	2	30	88	
	稲沢東分署	1	1	2	1	1	4	0	2	5	9	5	1	32		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0	7		
	平和分署	0	0	2	0	2	0	1	2	2	3	4	3	19		
	小計	3	1	9	2	4	6	4	5	10	22	16	6	88		
事業所 訓練指導	本署	1	1	1	4	3	11	4	0	4	4	12	3	48	145	
	稲沢東分署	1	3	7	8	3	2	1	0	3	8	10	3	49		
	祖父江分署	0	1	2	0	1	2	2	0	2	0	3	1	14		
	平和分署	2	1	0	1	4	5	4	0	3	5	5	4	34		
	小計	4	6	10	13	11	20	11	0	12	17	30	11	145		
教育機関 訓練指導	本署	2	0	2	3	10	6	2	10	4	5	1	0	45	90	
	稲沢東分署	0	1	1	1	6	0	0	1	0	4	1	2	17		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	3	2	2	0	4	3	0	14		
	平和分署	1	0	2	1	1	1	1	0	1	1	5	0	14		
	小計	3	1	5	5	17	10	5	13	5	14	10	2	90		
普通救命 講習会	本署	2	4	3	3	3	6	9	14	10	3	4	4	65	99	
	稲沢東分署	1	2	1	1	1	5	1	6	1	0	0	1	20		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	5		
	平和分署	0	1	0	0	2	0	2	1	1	2	0	0	9		
	小計	3	7	4	4	6	12	12	22	13	6	4	6	99		
消防署見学	本署	0	0	1	2	9	2	0	2	0	0	2	1	19	25	
	稲沢東分署	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平和分署	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3		
	小計	0	0	1	2	13	2	0	2	1	0	3	1	25		
住宅防火査察	本署	77	0	0	0	0	0	0	0	0	94	85	90	346	990	
	稲沢東分署	104	0	0	0	0	0	0	0	0	81	100	89	374		
	祖父江分署	29	0	0	0	0	0	0	0	0	32	46	40	147		
	平和分署	29	0	0	0	0	0	0	0	0	27	34	33	123		
	小計	239	0	0	0	0	0	0	0	0	234	265	252	990		
地理水利調査	本署	4	13	9	3	6	6	8	2	5	7	4	0	67	288	
	稲沢東分署	1	10	14	6	3	8	20	7	3	18	10	0	100		
	祖父江分署	7	9	6	13	5	3	1	2	6	6	3	1	62		
	平和分署	4	7	0	5	6	4	5	7	10	6	5	0	59		
	小計	16	39	29	27	20	21	34	18	24	37	22	1	288		
枯草調査	本署	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4	9	
	稲沢東分署	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	祖父江分署	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2		
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
	小計	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	9		
はしご車 接梯調査	本署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
合計		271	55	58	159	110	84	83	62	65	331	352	282	1,912		

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均1.4件であり、届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,676件（32.7%）次いで道路工事届出書が1,097件（21.4%）となっている。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	218	4.3%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	206	4.0%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,676	32.7%
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	283	5.5%
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	306	6.0%
道 路 工 事 届 出 書	1,097	21.5%
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	794	15.5%
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 設 備 設 置 届 出 書	42	0.8%
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	36	0.7%
催 物 開 催 届 出 書	8	0.2%
露 店 等 の 開 設 届 出 書	83	1.6%
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	51	1.0%
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	251	4.9%
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	47	0.9%
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	20	0.4%
合 計	5,118	100%

区別消防同意状況は、第2表のとおりである。月平均で約14件の消防同意を実施している。区別では新築が127件（74.3%）である。

第2表 区別消防同意状況

(件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新築	8	7	7	7	16	13	11	8	13	9	15	13	127	74.3%
増築	1	1	7	3	1	2	1	5	5	8	4	4	42	24.5%
改築													0	0%
用途変更						1	1						2	1.2%
その他													0	0%
合計	9	8	14	10	17	16	13	13	18	17	19	17	171	100%

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況

(件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消火器	消火器	2	6	7	3	2	3	4	7	6	3	4	5	52	22.0%
	屋内消火栓設備			1	1		1	2	1	4		2		12	5.1%
	パッケージ型消火設備			1									2	3	1.3%
	スプリンクラー設備	1	1		1	1	1				1	1	7	3.0%	
	屋外消火栓設備			3			2						5	2.1%	
	泡消火設備												0	0%	
	粉末消火設備							1					1	0.4%	
	ガス消火設備							1					1	0.4%	
	動力消防ポンプ設備												0	0%	
	警報設備	自動火災報知設備	2	6	11	4	6	2	9	12	5	2	3	9	71
消防機関へ通報する火災報知設備		3	1	3	4	1	1				1	2	16	6.8%	
非常警報器具・設備			1	3							2	1	1	8	3.4%
非常放送設備		1		2	1			4					8	3.4%	
漏電火災警報器													0	0%	
避難設備	避難器具	1		1				6	2				10	4.2%	
	誘導灯・誘導標識	3	6	6	1	2	1	4	3	2	3	4	3	38	16.1%
その他	消防用水		1	1						1			3	1.3%	
	連結送水管						1						1	0.4%	
	非常コンセント設備												0	0%	
	排煙設備												0	0%	
合計	13	22	39	14	13	11	20	35	19	11	16	23	236	100%	

危険物製造所等は293施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許 可	設 置		5	3		1		2				2	13	
	変 更		6	5		1		2		3		48	65	
仮 使 用 承 認			6	4		1				3		47	61	
完成検査	設 置		4	1		1		2	1			2	11	
	変 更		6	5		1		2		3		45	62	
予 防 規 程 認 可													0	
軽 微 な 工 事 届			3							27		31	61	
品名・数量・倍数変更届			5						1			6	12	
保安監督者選任・解任届			22	2						7		10	41	
廃 止 届			1	1		2		1		3		2	10	
合 計		0	58	21	0	7	0	9	2	46	0	0	193	336

火 災 概 況

火災の状況をみると第1表のとおり、出火件数が53件と前年（65件）に比べ12件減少し、建物火災は前年と比較すると7件減少しているが、損害額は増加している。

火災種別で見ると、建物火災が27件で全体の51%と最も高い割合であり、次いで、その他の火災が20件で37.7%、車両火災が6件で11.3%となっている。

第1表 平成30年中の火災状況と前年との比較

区 分	単 位	平成30年(A)	平成29年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	53	65	-12
建物火災		27	34	-7
車両火災		6	1	5
その他の火災		20	30	-10
焼損棟数	棟	49	44	5
全焼		9	4	5
半焼		5	5	0
部分焼		16	15	1
ぼや		19	20	-1
建物焼損床面積	m ²	2,171	586	1,585
死者	人	1	4	-3
負傷者		7	9	-2
り災世帯	世帯	28	20	8
り災人員	人	77	43	34
損害額	千円	(※)122,397	27,730	(※)94,667
建物火災		(※)119,187	27,655	(※)91,532
車両火災		3,197	0	3,197
その他の火災		13	75	-62
出火率	%	3.9	4.7	1.9

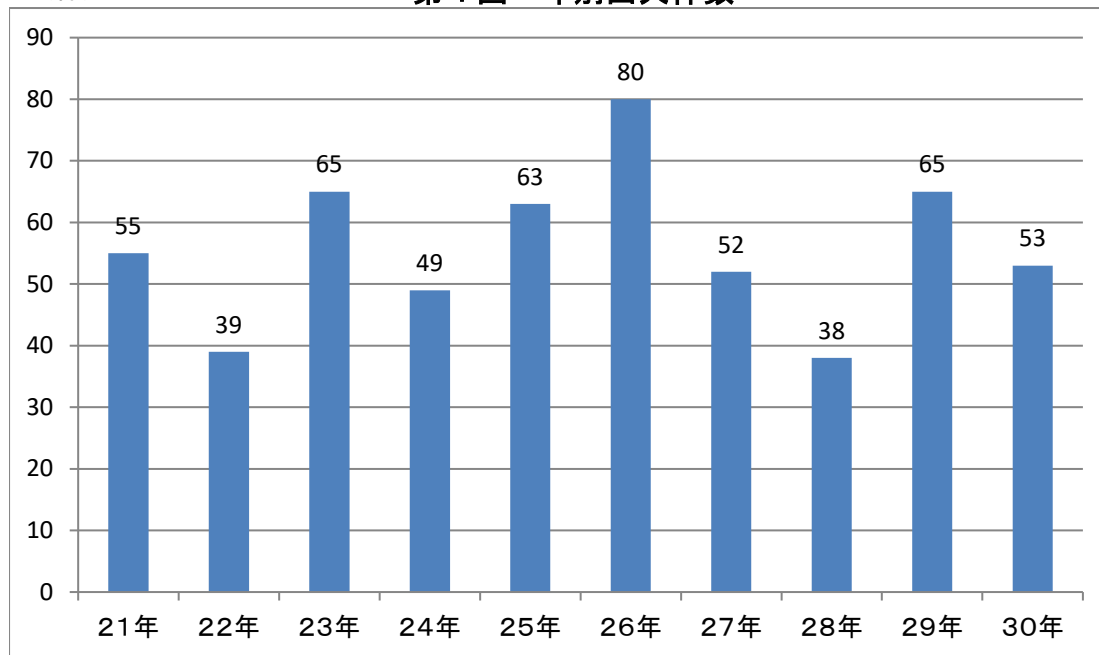
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。
 3 (※) 現在調査中で、概数として計上する。

年別出火件数

過去10年間の出火件数をみると第1図のとおり、平成26年が80件と最も多くなっており、次いで平成29年は平成23年と同様に65件と多い件数である。

平成30年の1日当たりの出火件数は0.15件であり、約6.9日に1件の割合で火災が発生している。

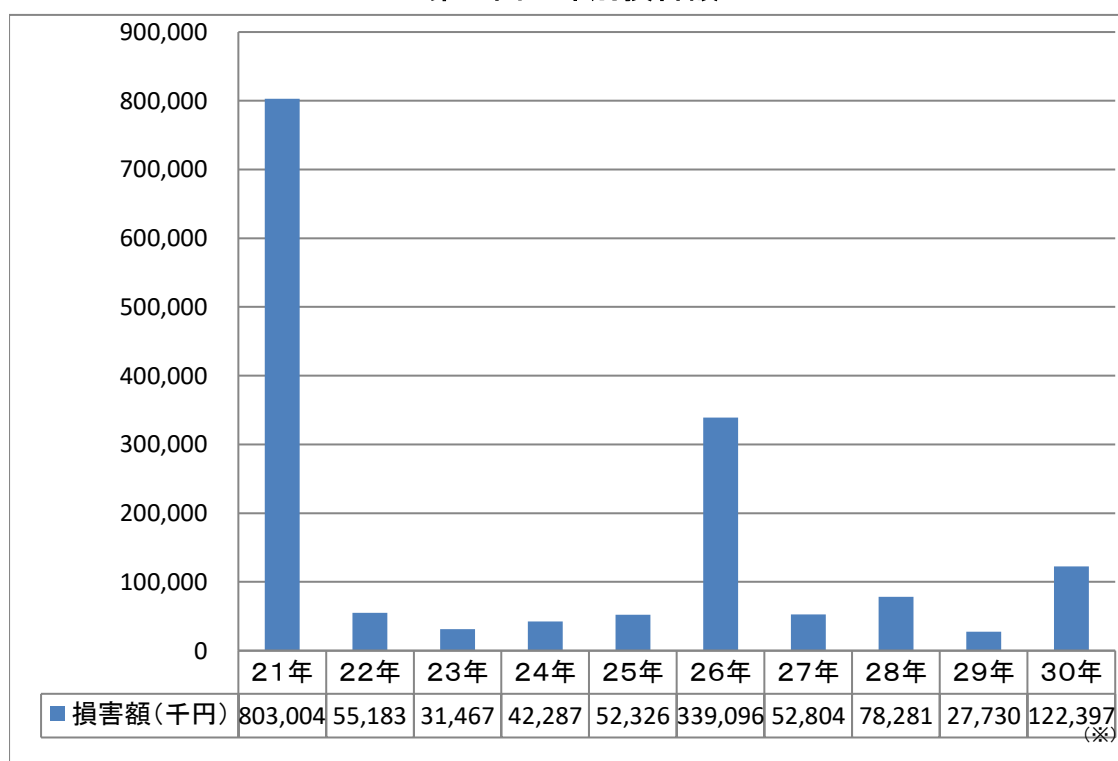
(件) 第1図 年別出火件数



年別損害額

損害額は122,397千円(※)であり、前年(27,730千円)に比べ94,667千円増加している。また、火災1件当たりでは2,309千円となっており、前年(427千円)と比べて、1,882千円増加している。

第2図 年別損害額



(※) 現在調査中で、概数として計上する。

署別出火件数

出火件数の53件を署別にみると第2表のとおり、本署が19件で最も多く、次いで平和分署の13件、祖父江分署の11件、稲沢東分署の10件の順となっている。

署別出火件数を前年と比べてみると、本署及び稲沢東分署で減少し、全体数についても、12件減少し、18.5%の減少率となっている。

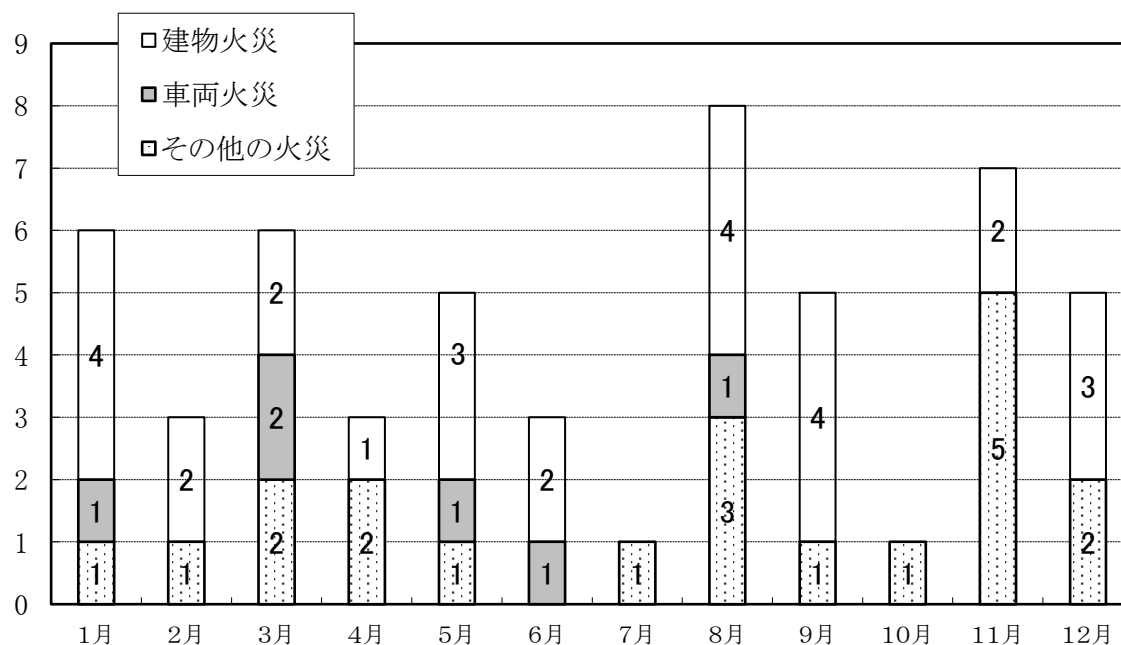
第2表 署別出火件数前年比較

	平成30年(A) 出火件数	平成29年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	19	27	-8	-29.6
稲沢東分署	10	22	-12	-54.5
祖父江分署	11	6	5	83.3
平和分署	13	10	3	30.0
合計	53	65	-12	-18.5

月別出火件数

月別の発生件数は、7月及び10月が最も少ない1件であり、火災種別ごとにみると建物火災は1月、8月及び9月が4件、その他の火災は11月に5件と最も多くなっている。

(件) 第3図 月別出火件数

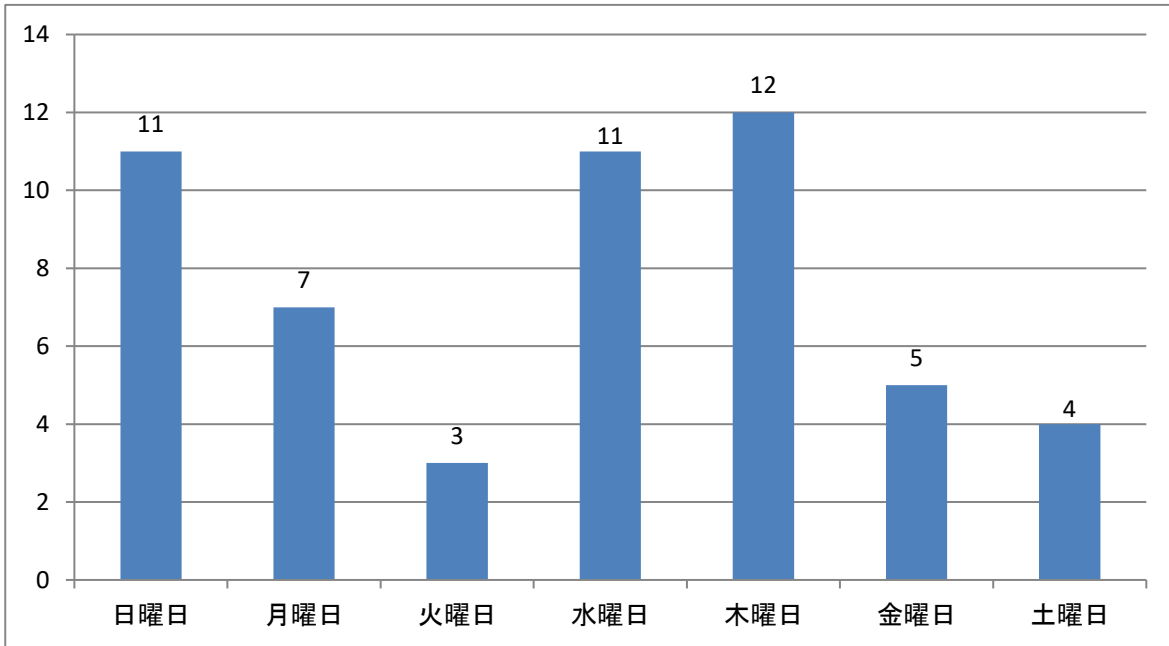


曜日別出火件数

出火件数53件を曜日別にみると第4図のとおり、木曜日が12件と最も多く、次いで日曜日及び水曜日が11件となっている。

(件)

第4図 曜日別出火件数

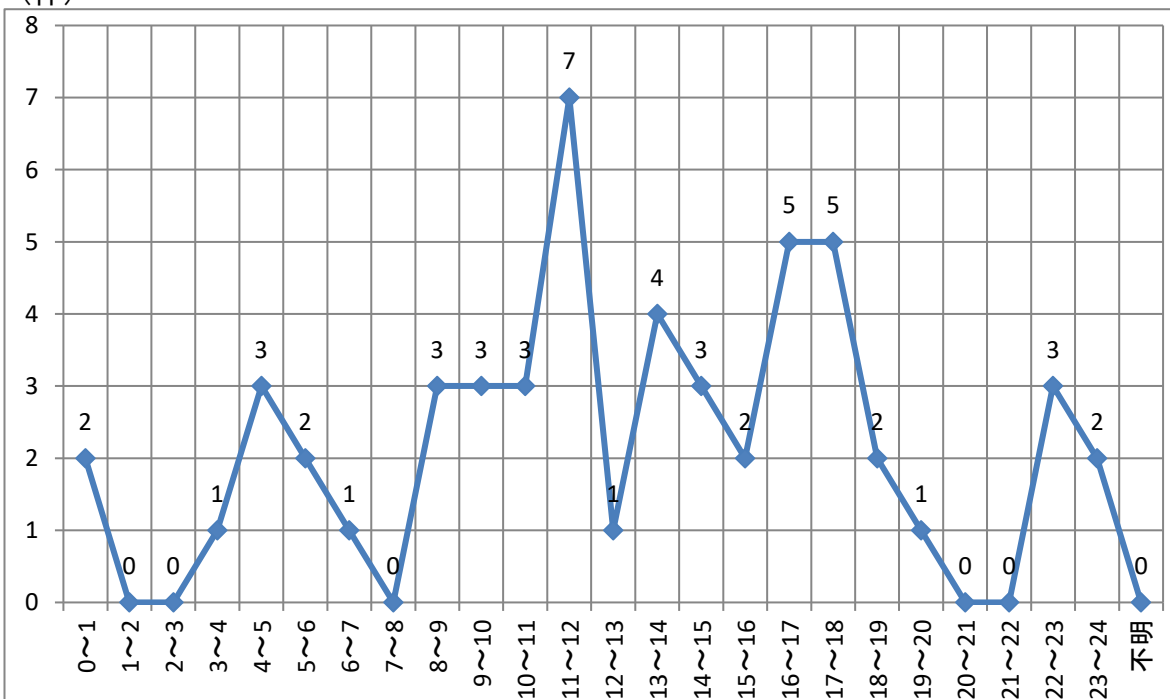


時間別出火件数

出火件数53件を時間別にみると第5図のとおり、11時から12時までが7件と最も多くなっている。

(件)

第5図 時間別出火件数



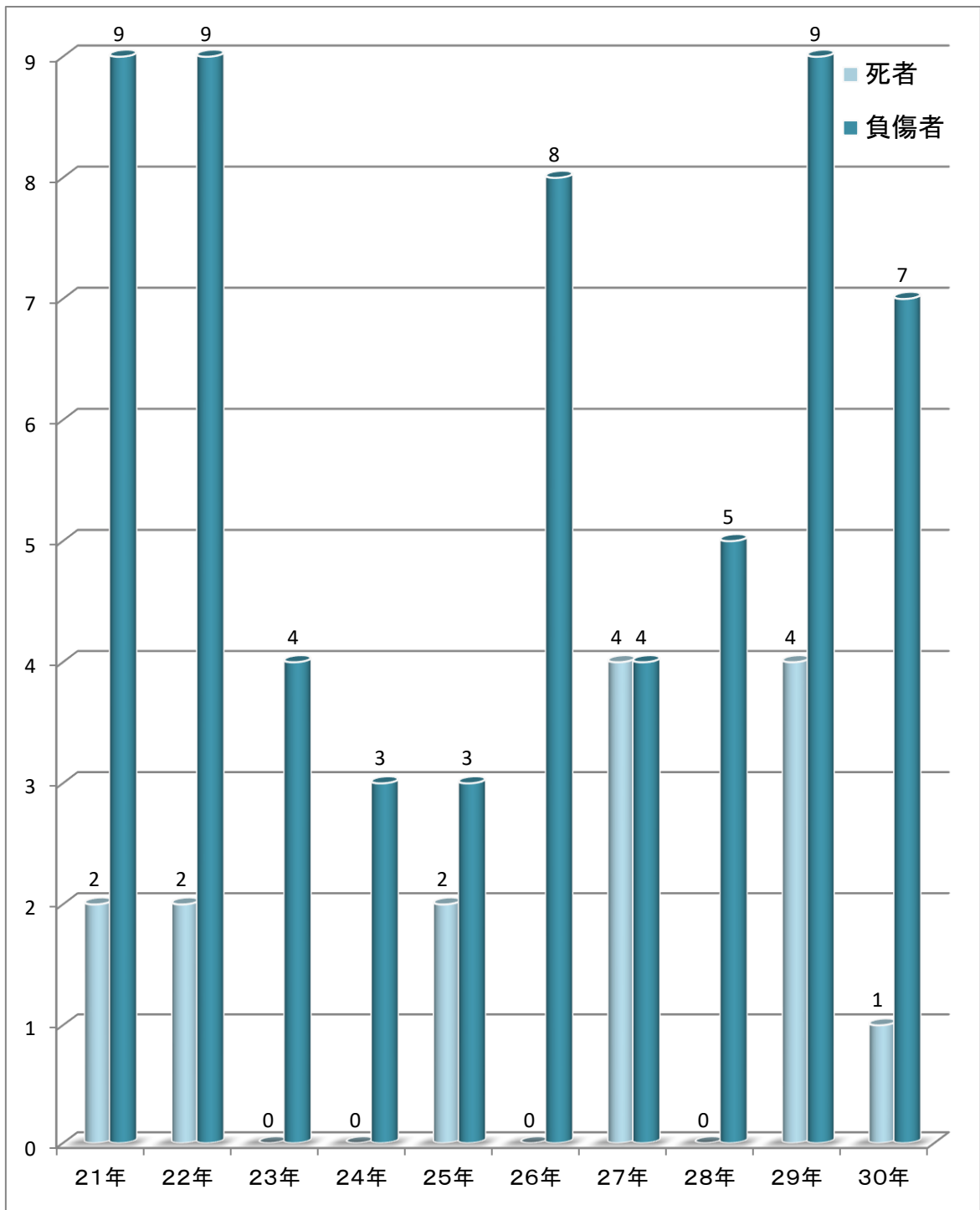
火災による死傷者数

平成30年の火災による死傷者発生状況については、死者1人、負傷者7人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成21年、平成22年及び平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

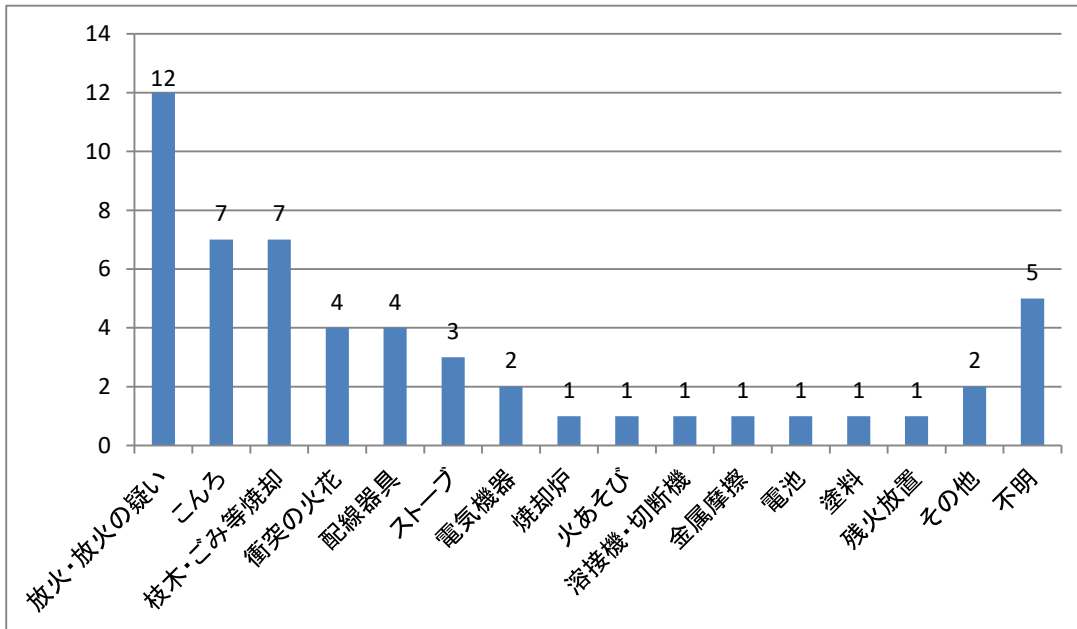
(人) 第6図 年別死傷者数



出火原因別出火件数

出火件数 53 件を出火原因別にみると第 7 図のとおり、放火・放火の疑いによる火災が 12 件と多く発生し、全体の 22.6% を占めている。

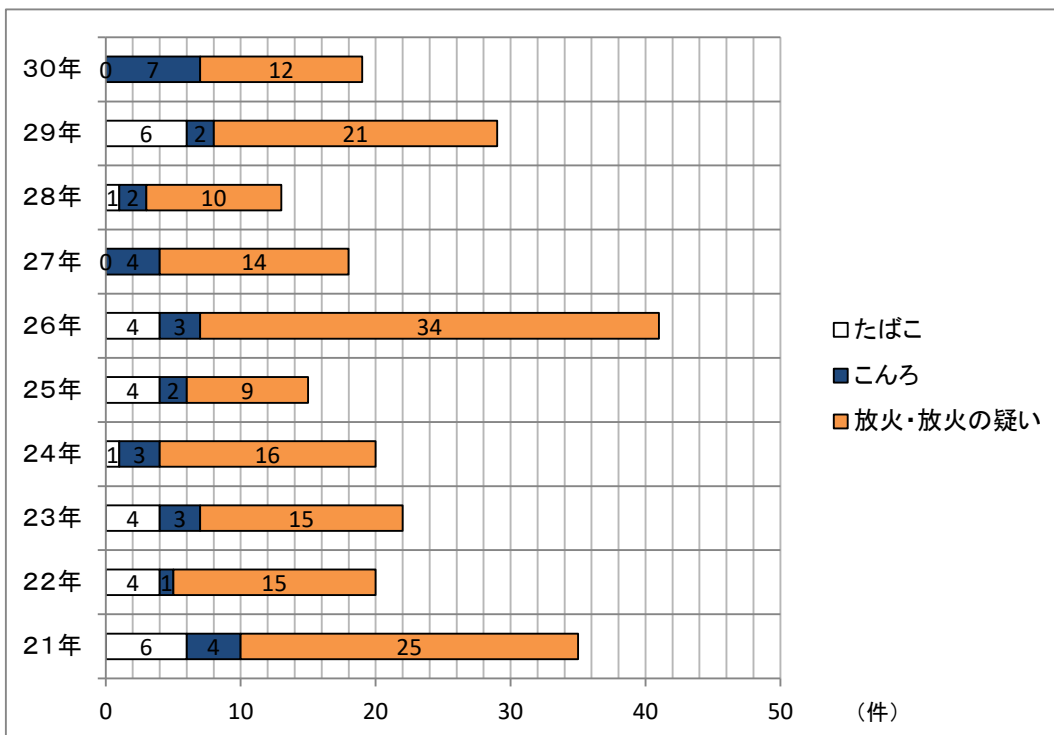
(件) **第 7 図 出火原因別出火件数**



出火原因の推移

過去 10 年間の主な出火原因の推移をみると第 8 図のとおり、平成 21 年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成 26 年の 34 件が最も多く、次いで平成 21 年の 25 件となっている。

第 8 図 出火原因の推移



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は6,238件で前年と比較して315件増加している。1日当たりの平均出場件数は、約17件である。

また、搬送人員は6,006人で前年と比較して302人増加している。

なお、当消防本部管内の住民約23人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

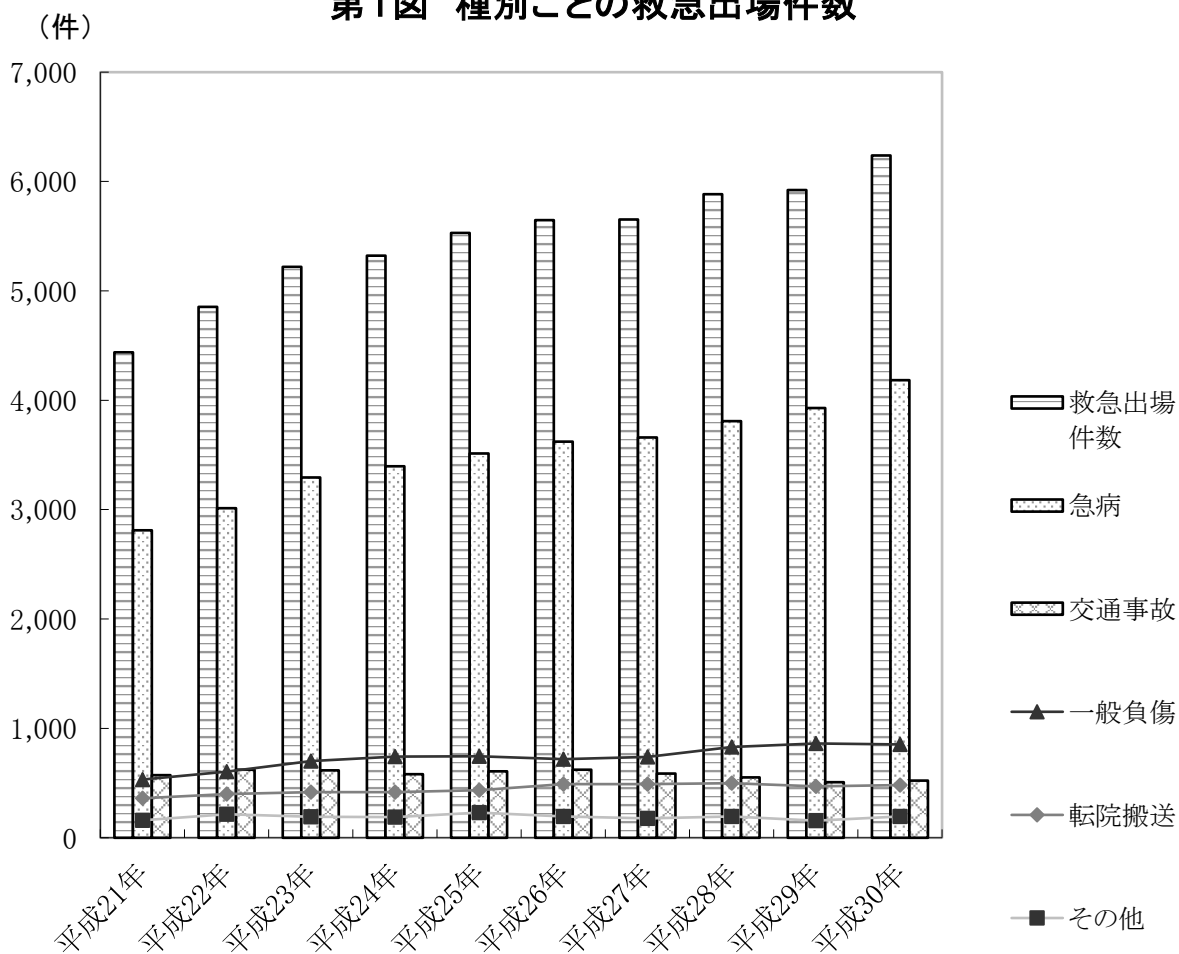
第1表 救急業務実施状況

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	
署別														
本署	平成29年	件数	15			163	17	8	223	3	6	1,110	86	1,631
		人員	8			161	17	8	215	3	5	1,058	86	1,561
	平成30年	件数	16		1	166	20	9	240	3	14	1,244	86	1,799
		人員	3			178	20	10	234	3	11	1,175	87	1,721
稲沢東分署	平成29年	件数	11	1		197	20	9	388	4	12	1,687	249	2,578
		人員	2	1		206	19	9	376	4	5	1,609	250	2,481
	平成30年	件数	7			197	34	16	346	7	17	1,654	246	2,524
		人員	1			195	34	16	343	5	13	1,581	246	2,434
祖父江分署	平成29年	件数	2		2	73	5	9	112	1	7	539	91	841
		人員	1			74	4	9	111	1	4	511	91	806
	平成30年	件数			1	70	9	10	139	2	7	645	112	995
		人員				76	9	10	137	2	5	611	112	962
平和分署	平成29年	件数	2			74	14	2	139	2	2	592	46	873
		人員	1			83	14	2	136	1	1	572	46	856
	平成30年	件数	1			89	13	2	129		5	641	40	920
		人員				96	13	2	126		4	607	41	889
合計	平成29年	件数	30	1	2	507	56	28	862	10	27	3,928	472	5,923
		人員	12	1	0	524	54	28	838	9	15	3,750	473	5,704
	平成30年	件数	24	0	2	522	76	37	854	12	43	4,184	484	6,238
		人員	4	0	0	545	76	38	840	10	33	3,974	486	6,006

種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおり救急出場件数は増加傾向にあり、特に急病の出場件数が増加している。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

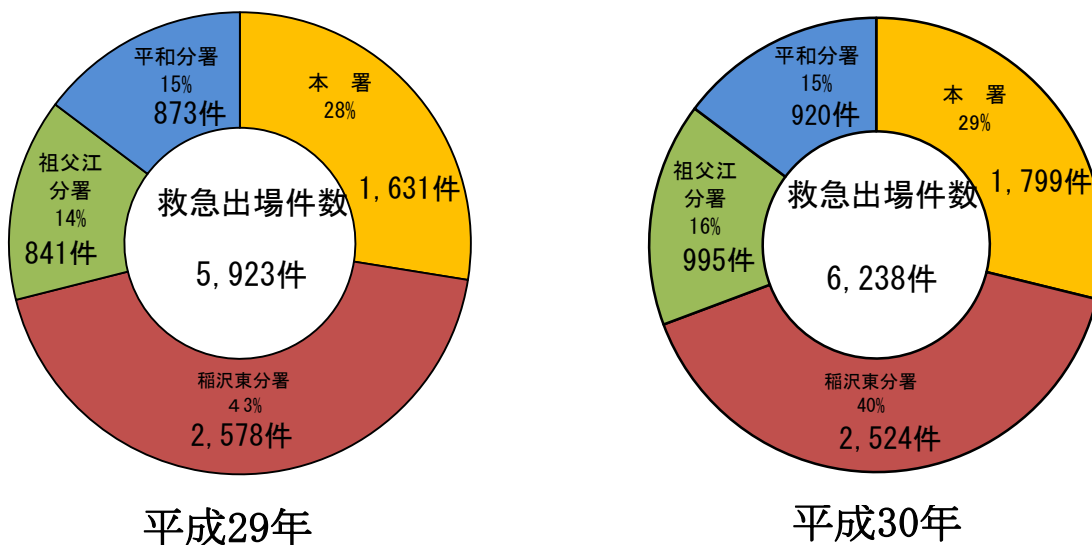
種別 \ 年別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
救急出場件数	4,437	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238
急病	2,812	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184
交通事故	572	623	615	581	608	622	587	551	507	522
一般負傷	532	605	702	742	745	719	739	830	862	854
転院搬送	361	399	418	416	434	490	490	499	470	482
その他	160	214	192	188	230	195	176	194	156	196

署別救急出場件数

救急出場件数6,238件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が2,524件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、稲沢東分署は54件減少、本署は168件、祖父江分署は154件、平和分署は47件増加し、合計315件の増加となった。

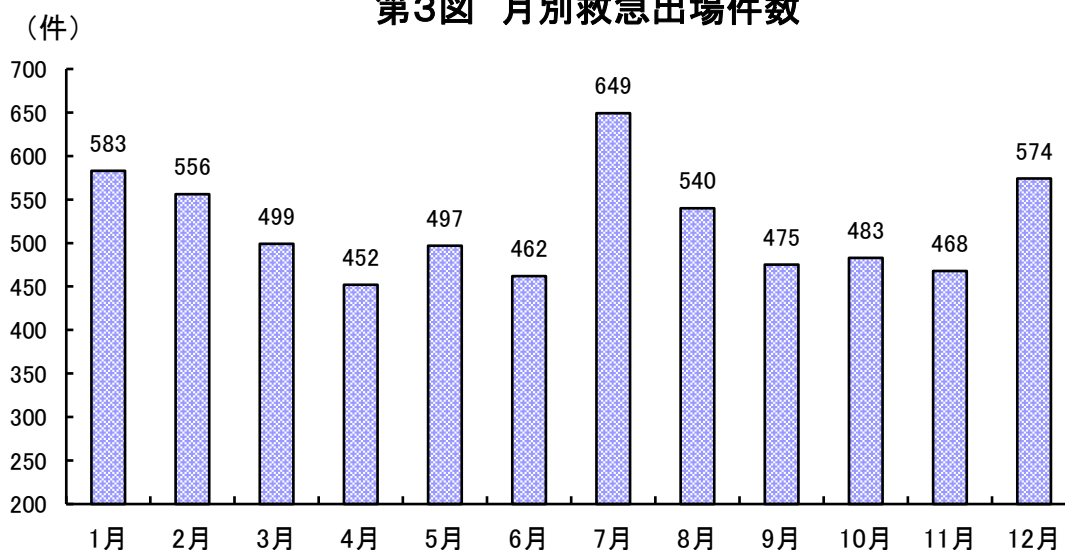
第2図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

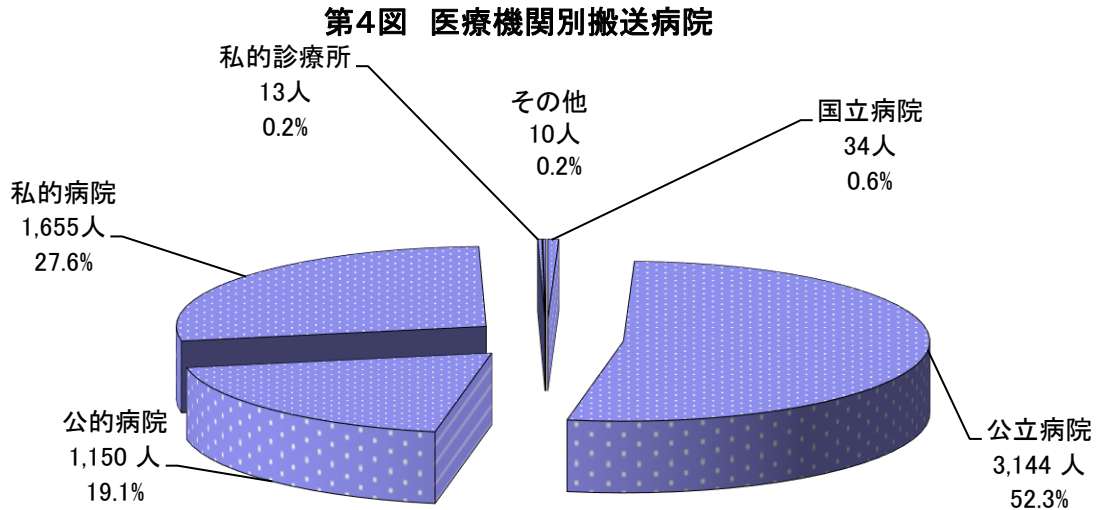
救急出場件数6,238件を月別に見ると、第3図のとおり、7月が649件と最も多く、次いで1月、12月の順となっている。最も少なかったのが4月の452件で、月平均すると約520件となる。

第3図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

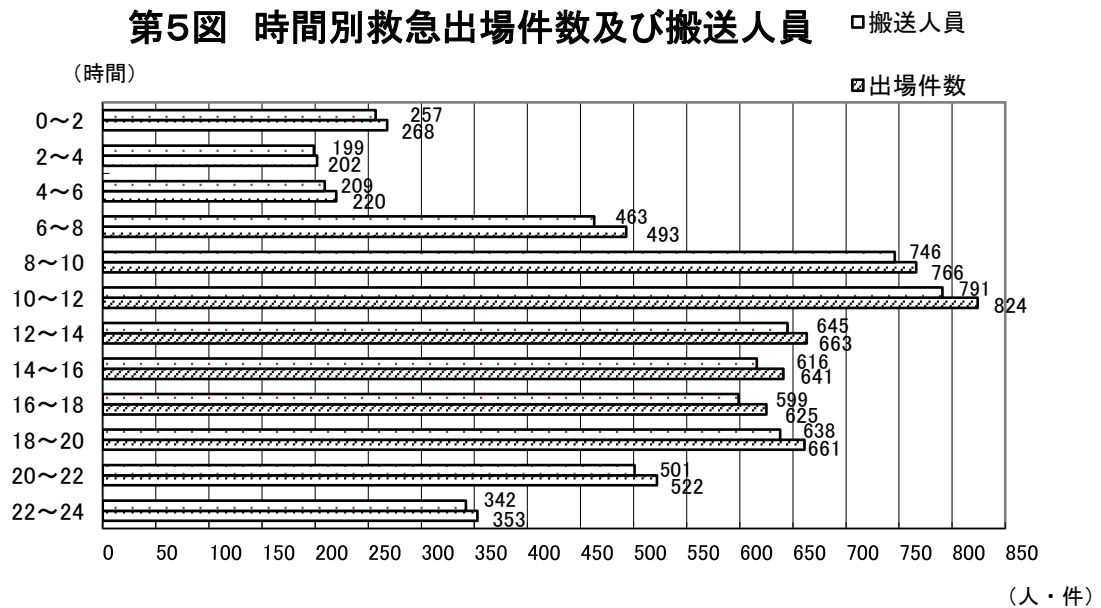
搬送された6,006人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が3,144人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。



時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,238件及び搬送人員6,006人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が824件と最も多く、次いで8時から10時、12時から14時の順になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の202件となっている。

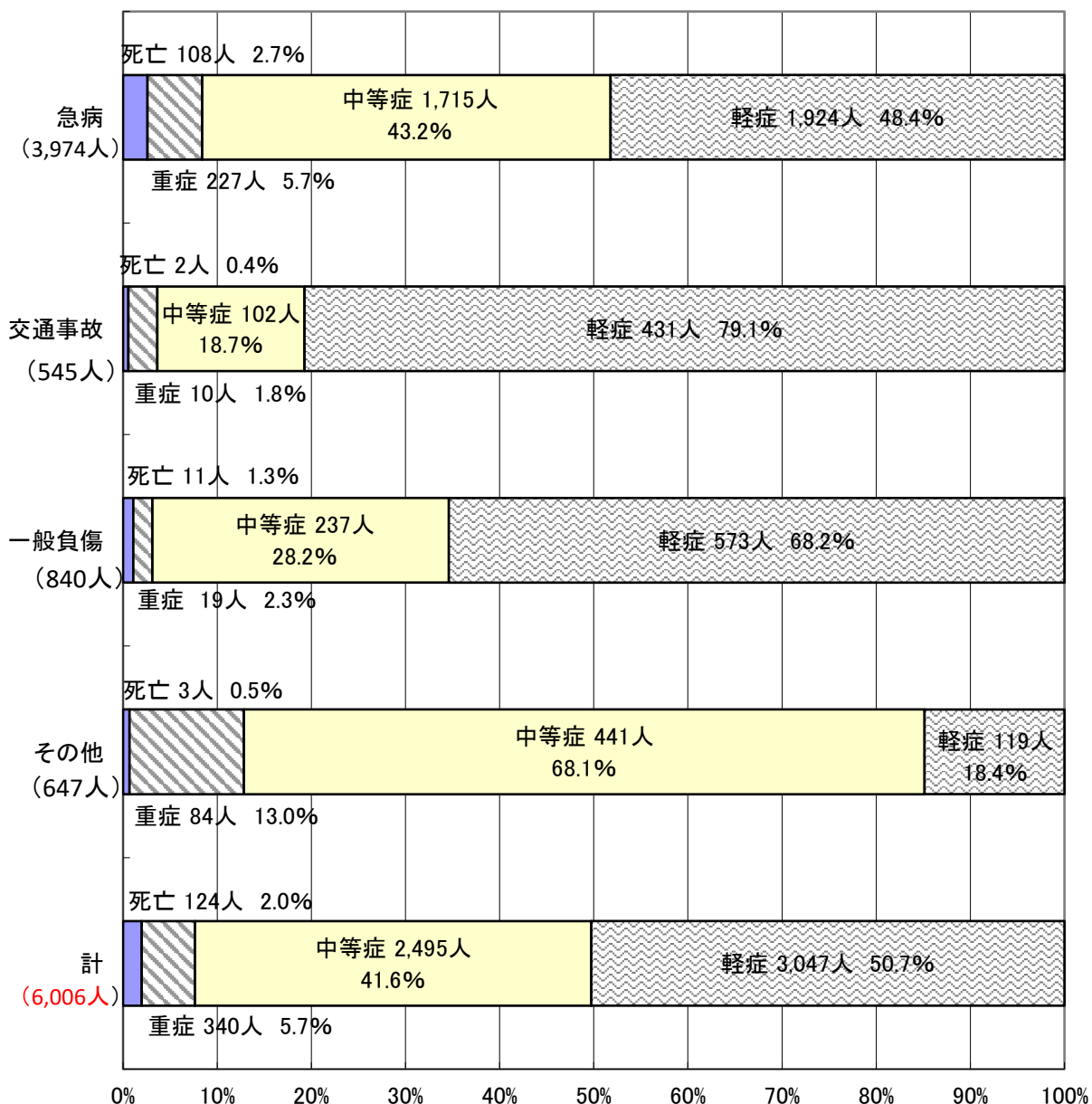


傷病程度別搬送人員

搬送人員 6,006 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 3,047 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 545 人のうち 431 人（79.1%）が軽症で最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第 6 図 傷病程度別搬送人員の状況

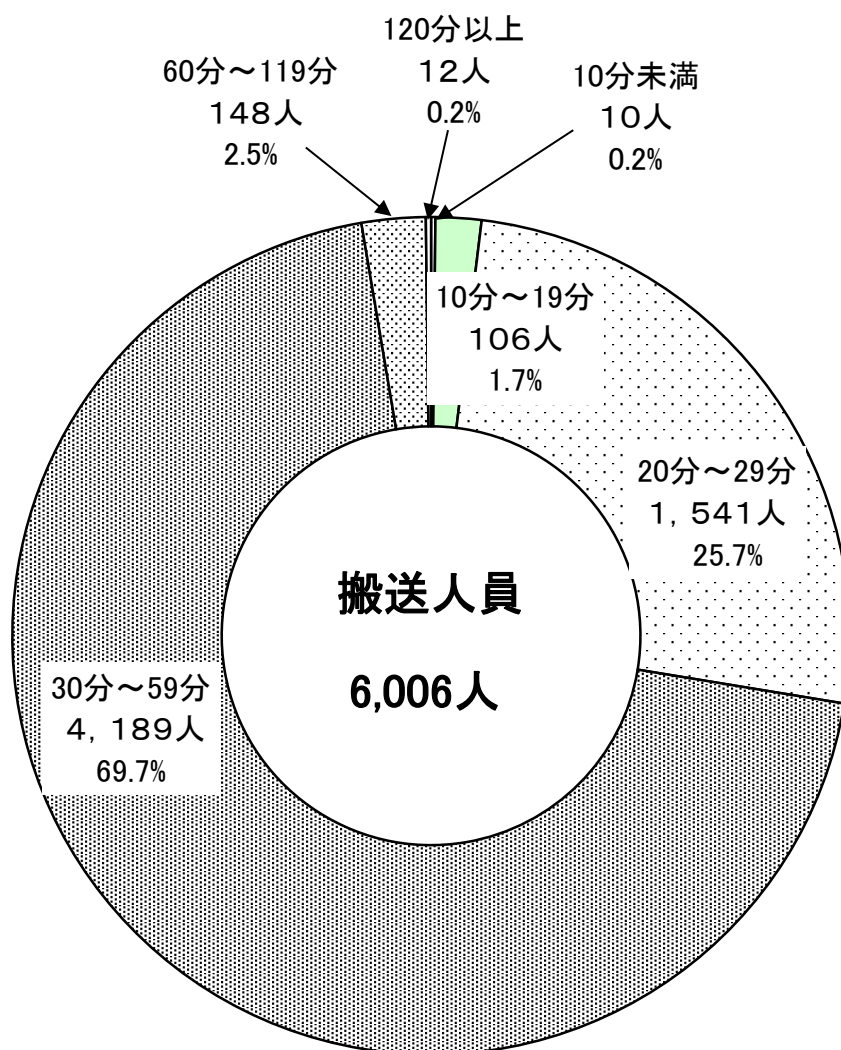


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 6,006 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 1.9% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 27.6% が収容されている。しかし、30 分以上は 72.4% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



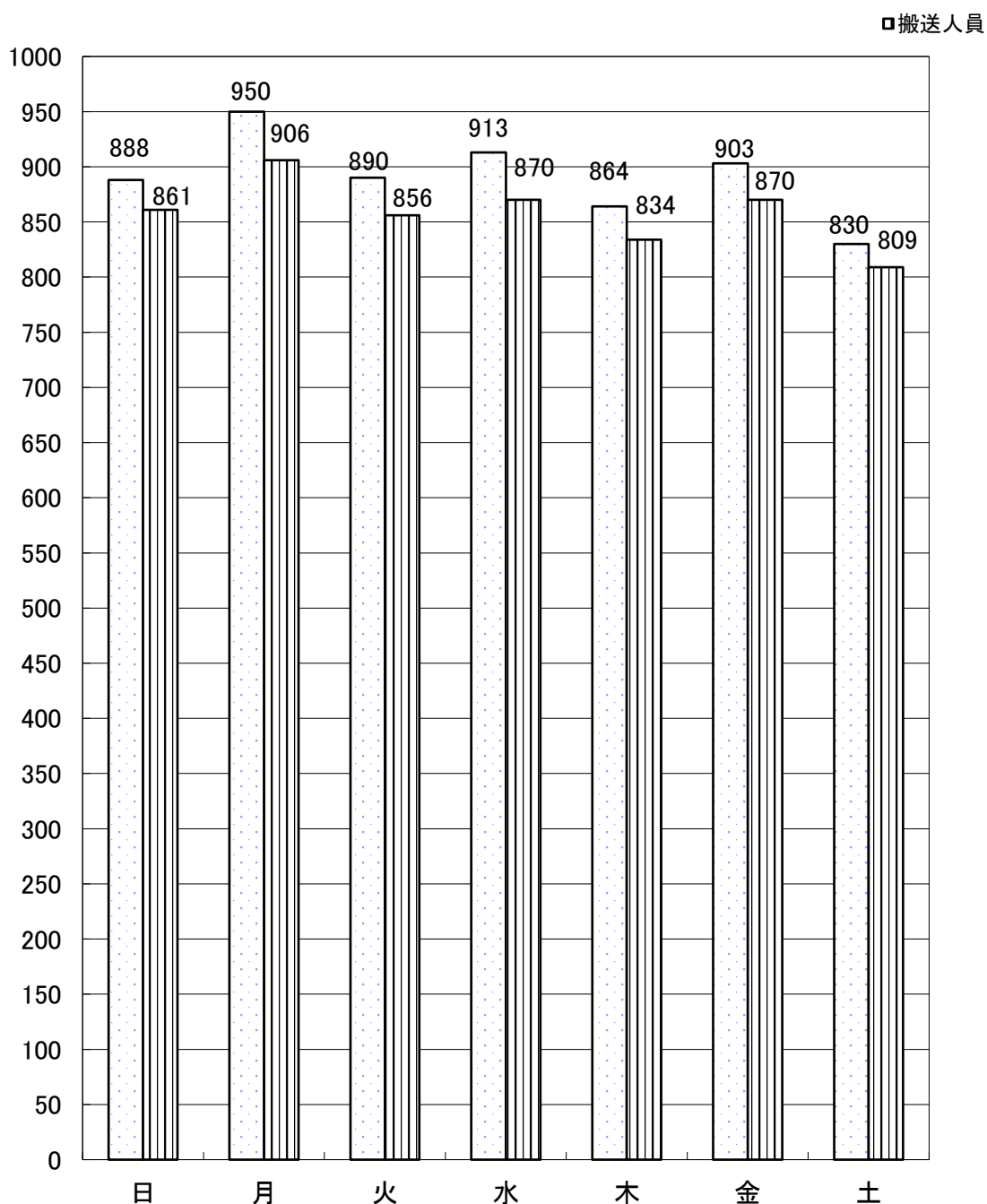
曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数6,238件及び搬送人員6,006人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が950件と最も多く、次いで水曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の830件となっている。

搬送人員は、月曜日が906人と最も多く、次いで水曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の809人となっている。

(件・人) **第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員** □ 出場件数



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は82件で、前年の69件と比較すると13件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、その他の事故が49件（59.8%）で最も多く、次いで交通事故が23件（28.0%）となっている。

救助活動件数は49件であり、この活動により46人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、その他の事故が27人で全体の58.7%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

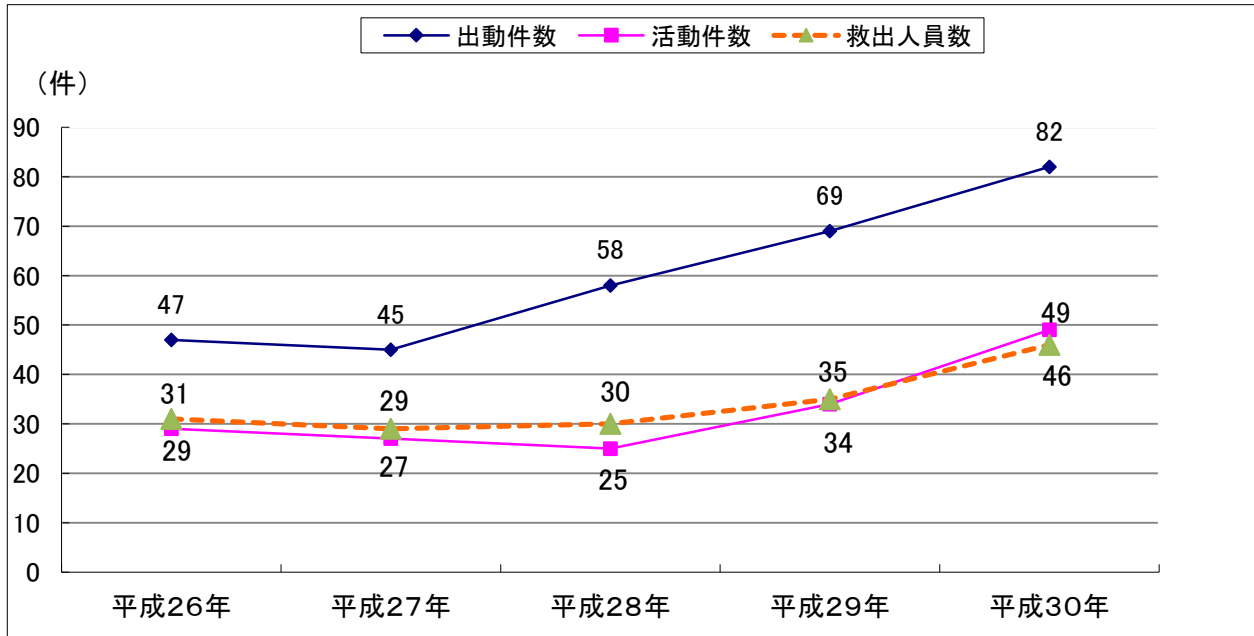
署別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	平成29年	2	10	0	1	5	0	0	13	31
		平成30年	0	11	0	1	1	0	0	20	33
	活動件数	平成29年	2	5	0	1	5	0	0	3	16
		平成30年	0	8	0	0	0	0	0	15	23
	救出人員	平成29年	1	5	0	1	5	0	0	3	15
		平成30年	0	9	0	0	0	0	0	14	23
稲沢東分署	出動件数	平成29年	3	3	0	1	3	0	0	10	20
		平成30年	1	7	0	1	1	0	0	21	31
	活動件数	平成29年	3	2	0	0	3	0	0	4	12
		平成30年	1	2	0	1	1	0	0	10	15
	救出人員	平成29年	3	3	0	0	4	0	0	4	14
		平成30年	0	2	0	1	1	0	0	10	14
祖父江分署	出動件数	平成29年	0	6	1	0	0	0	0	6	13
		平成30年	0	0	1	1	0	0	0	4	6
	活動件数	平成29年	0	1	1	0	0	0	0	2	4
		平成30年	0	0	1	0	0	0	0	2	3
	救出人員	平成29年	0	1	1	0	0	0	0	2	4
		平成30年	0	0	1	0	0	0	0	1	2
平和分署	出動件数	平成29年	0	2	0	0	0	0	0	3	5
		平成30年	2	5	1	0	0	0	0	4	12
	活動件数	平成29年	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		平成30年	2	3	1	0	0	0	0	2	8
	救出人員	平成29年	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		平成30年	1	3	1	0	0	0	0	2	7
合計	出動件数	平成29年	5	21	1	2	8	0	0	32	69
		比 率	7.2%	30.4%	1.5%	2.9%	11.6%	0%	0%	46.4%	100%
		平成30年	3	23	2	3	2	0	0	49	82
		比 率	3.7%	28.0%	2.4%	3.7%	2.4%	0%	0%	59.8%	100%
	活動件数	平成29年	5	8	1	1	8	0	0	11	34
		平成30年	3	13	2	1	1	0	0	29	49
	救出人員	平成29年	4	9	1	1	9	0	0	11	35
		平成30年	1	14	2	1	1	0	0	27	46

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成30年の82件が最も多く、次いで平成29年の69件となっている。

救助活動件数を見ると、平成30年の49件が最も多く、次いで平成29年の34件となっている。

救出人員数を見ると、平成30年の46人が最も多く、次いで平成29年の35人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した82件を所轄別で見ると、第2図のとおり本署が33件（40%）と最も多く、次いで稲沢東分署が31件（38%）となっている。

第2図 署別出動状況

